

とタイムズ

01

鳥取県立美術館の企画展第2弾「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展」お化けたちはこうして生まれた〜が、いよいよ7月19日からスタート！妖怪づくしの夏休みが楽しみになる情報をお届けします。

まんが 漫画家

水木しげる先生ってどんな人？

「妖怪漫画」の第一人者！

『ゲゲゲの鬼太郎』をはじめ『悪魔くん』など人気漫画を生み出した漫画家水木しげるさん。漫画のほかに、日本の妖怪だけでも千点を超える妖怪画を手がけるなど、日本の民俗文化を現代に広めた妖怪研究家でもあります。実は、妖怪たちのほとんどは水木さんの完全な創作ではなく、江戸時代の絵師・鳥山石燕の画集や民俗学者・柳田國男による論文や随筆などの妖怪史料を参考にしたもの！水木さんの仕事にはいつも先人たちが築いてきた妖怪文化へのリスペクトがありました。

緻密な背景と愛嬌がある妖怪たち



《べとべとさん》©水木プロダクション

表情豊かな人物にも注目！

不気味ながらもどこか親しみを感ぜさせる、水木しげるさんの妖怪たち。人々の暮らしが見えてくるような緻密に描き込まれた背景が、その存在感を際立たせているのも特徴的。

1922年3月8日生まれ。鳥取県境港市育ち。太平洋戦争時に激戦地で左腕を失い、戦後は紙芝居作家を経て漫画家となる。2015年11月30日、93歳で逝去。代表作『ゲゲゲの鬼太郎』『河童の三平』『悪魔くん』など。

水木しげる先生

まんが 漫画家
水木しげる蔵



鳥山石燕『画図百鬼夜行』1776年 水木しげる蔵



《塗壁 / ぬりかべ》©水木プロダクション

自身も妖怪に出会っていた!? 戦場では『ゲゲゲの鬼太郎』にも登場する「ぬりかべ」のおかげで命拾いをしたというエピソードも。

水木しげるの故郷・鳥取に妖怪が大集合!

イベントに参加して、妖怪をもっと知ろう！
・関連イベント・
夏休みの県美は、妖怪づくし！

ギャラリートーク付先行特別鑑賞会

水木しげるさんの長女である、原口尚子さんにお話を聞きながら鑑賞できる特別なひとときです。

日時 7/18[金] 13:00〜15:00

講演会「妖怪から紐解く山陰

〜水木しげると小泉八雲のまなざしから〜

妖怪文化において大きな足跡を残した、小泉八雲と水木しげるのまなざしから、山陰という地域の特徴を紐解きます。講師は小泉八雲のひ孫であり、小泉八雲記念館館長の小泉凡さん！貴重な機会です。

日時 7/26[土] 14:00〜15:30

妖怪ブローチ・TシャツづくりWS

コスチュームアーティスト・ひびのこづえさんによるワークショップを開催します。舞台衣装の特殊な生地を縫って、妖怪コスチュームをつくりましょう！

日時
Tシャツ 7/19[土]・20[日]・21[月・祝]
ブローチ 8/2[土]・3[日]

ひびのこづえ×島地保武×小野龍一ダンスパフォーマンス《ヨーカイ YOKAI》

ひびのこづえさんが伝承をもとにユニークな衣装をデザインし、ダンサー・振付家の島地保武さんがユーモラスに振付・演出。小野龍一さんの音楽が妖怪の世界を彩り、オーディションで集まったダンサーたちが予測不能なドラマを繰り広げます！



会期中の土日祝には、パフォーマンスのなかで登場する「巨大な妖怪」を空へ飛ばすワークショップも！

日時 8/9[土]・10[日]・11[月・祝]
各日①16:00〜②19:00〜の2回公演(最終日は①のみ)

詳細情報は企画展ページにて公開中！

《イベントはすべて事前申込制・先着順です》

- 1 リューグンさん [琴浦町寛津]
- 2 えぐ芋・ばらた牛 [倉吉市関金町]
- 3 人魚伝説 [米子市 / 粟嶋神社]
- 4 酒呑童子 [若桜町 / 岩屋堂]
- 5 撞かずの鐘 [八頭町 / 清徳寺]
- 6 お種 [鳥取市 / 多鯉ケ池]
- 7 因幡の白兎 [鳥取市 / 白兎海岸]
- 8 大牛蟹・乙牛蟹・伯耆坊・大蛇伝説 [伯耆町 / 樂樂福祉社 ~ 大山町 / 赤松池]
- 9 べとべとさん・金霊など [境港市 / 水木しげるロード〜境水道]
- 10 米子城山の主・米子の河童 [米子市 / 米子城跡]



ワークショップ「雲の遠足」で巡った
とっとりようかい マップ
鳥取妖怪MAP

※番号は訪問順

11 幽霊滝の伝説・七色檜
ひのちよう たまきましんじや こうふちうむ こ みづくえ
[日野町 / 瀧山神社 ~ 江府町武庫・御机]

12 牛鬼 [日南町 / 樂樂福祉社]

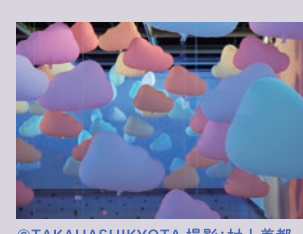
13 天女伝説・長谷寺の絵馬
くらよし はせでら しらかべどうぐん
[倉吉市 / 長谷寺〜白壁土蔵群]

14 ノミのお化け・とんちろりん・
狸の大入道
たぬき だいにゆうどう
[岩美町 / 横尾棚田]

15 猫薬師・湖山長者
とっとりし こやまいけ
[鳥取市 / 湖山池]

16 京女郎の祟り・清美
きやうじやろう たた きよみ
[智頭町 / 板井原集落]

17 幽霊の小豆とぎ・洗濯狐・
さし だに
佐治谷ばなし [鳥取市佐治町]



©TAKAHASHIKYOTA 撮影:村上美都

関連展示
光のインスタレーション
《雲の故郷へ》

みんなの思いをのせた
「雲の風船」は、色彩の光に
満ちた空間に浮かぶ
光のインスタレーションへ。

日時:7/19[土] ~ 8/31[日]
会場:1階ひろま
入場費:無料

びじゅつか たかはしきょうた
美術家・高橋匡太さん

おおよそ1年間をかけて、鳥取県内22カ所を「雲の遠足」でみなさんとともに訪ねてきました。妖怪や伝承に誘われなければ決して出会えなかったであろう風景が数多くありました。鳥取の原風景に隠された物語に触れるとき、そこに生きた人々の自然への親しみと畏怖の念を感じずにはおれません。延べ200人近くの参加者と訪ねた旅の記録は長大な写真絵巻「鳥取百奇野行絵図」としてまもなく完成です！未来への旅立ちを夢見る数百個の雲たちが、色彩の光に満ちた空間に浮かぶ展覧会場でみなさまのご来場をお待ちしています。



「雲の風船」は、持つだけでとてもワクワクしました。参加者のみなさんとお話しながら歩き、より一層楽しいひとときでした。打吹山や長谷寺の絵馬など土地について知ることで世界が広がる感じがしました。

吉永さまご家族
(松江市から参加)

水木しげるの妖怪 百鬼夜行展

〜お化けたちはこうして生まれた〜

現代の日本人に妖怪文化を根づかせた漫画家・水木しげるが、どのように妖怪と向き合い描いてきたのか、具体的手法に注目した展覧会です。水木所蔵の妖怪関係資料を初公開するとともに、百鬼夜行の名にふさわしく妖怪画100点以上を一挙に公開！

会期 2025年7月19日[土]〜8月31日[日]
※月曜(7/21、8/11を除く)、7/22[火]休館
会場 鳥取県立美術館3F企画展示室
時間 9:00〜17:00(入館は16:30まで)
※夜間開館日:7/19[土]・20[日]・8/9[土]・10[日]・30[土]・31[日]は21:00まで
料金 一般 1,500円(1,200円)
学生 950円(750円)
高校生 500円(400円)
小中学生 300円(240円)
※8月8日「妖怪の日」は、みなさま割引料金(団体割引相当)でご観覧いただけます
※()内は前売・20名以上の団体料金
※未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料
※企画展チケットで当日コレクション展もあわせてご覧いただけます

主催:水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 鳥取会場 実行委員会
(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、日本海テレビ、NHK鳥取放送局、NHKエンタープライズ中国支社)
企画協力:水木プロダクション
制作協力:NHKプロモーション

展覧会概要や関連プログラムの詳細はこちら

